

どんぴしゃ®ハーフ使用手順書

本資料は、両面印刷し、ラミネート処理を施し、常備願います。

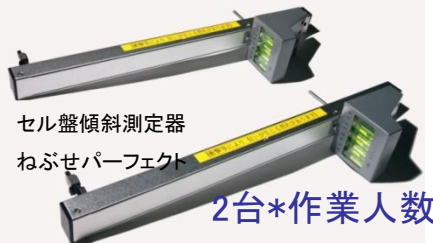
作業開始前の準備

作業人数分



パチンコ台運搬用皮手袋

作業人数分



台固定の仕組み

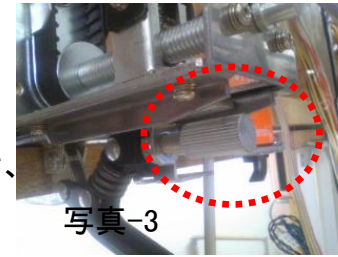
上部3箇所、下部2か所、計5か所で、**がっちり固定！**一度掴んだら、簡単には、離しません！！



パチンコ台の木枠へ爪を喰い込ませ、上板も同時に挟み込み、固定。上部左右2か所(写真-1)。



パチンコ台の木枠へ爪を喰い込ませ、膳板へ押し付け、固定。下部左右2か所(写真-2)。



挟み込み部後部のネジを時計回しに回すと、挟み込む力が強まります。上板の厚さ等で、設置時、調整が必要です(写真-3)。



パチンコ台の木枠と島上板の隙間からワイヤーを通し、木枠下部を通し、木枠を縛りつけるようフックへ引っ掛ける。その後、たるみを無くして、固定(写真-4)。

ここ重要！

※パチンコ台の木枠によっては、上板に切れ込み(写真-13)が入っております。目視で、**島の上部と出面を合わせる**よう設置して下さい。ドン付けで設置すると、傾斜が取り辛くなります。



※台の外しは、**本体と木枠を分離しません**。手順は、下部右、下部左、ワイヤー、上部右、上部左となります。ワイヤーを解除する際は、解除した**ワイヤーがパチンコ台に挟みこまれない様(写真-14)、注意**して下さい。



パチンコ台の設置

1.パチンコ台の本体と木枠を分離する。本体は、転倒破損しないよう椅子と椅子との間等で固定すること(写真-5)。



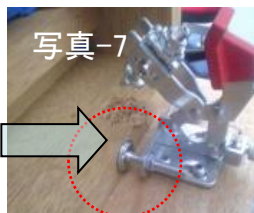
3.上部機構へ木枠自体を押しつけ、レバーを操作し、木枠を挟み込み(写真-8)、固定する。



5.本体を木枠に引っ掛け、設置終了。その後、セル盤傾斜設定作業へ。



2.木枠を島へ載せ、向かって左側へ寄せる(写真-6)。同時に、木枠自体を下部ストッパーへ押し付け(写真-7)、レバーを下ろし(写真-8)、固定する。



4.脱落防止ワイヤーを島と木枠の隙間から島前面へ通し、木枠に巻きつけるよう島内部へ戻し(写真-10)、フックに引っかける(写真-11)。ワイヤーの逆、大きい輪っか部分を島内部側へ軽くひっぱり(写真-12)、木枠を固定する。



※ワイヤーロックの解除は、指でロック機構をプッシュ(写真-15)。

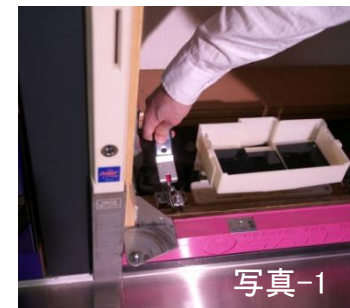
クランプ、使用説明書

本資料は、印刷し、ラミネート処理を施し、常備願います。

注意事項

・クランプを利用する際は、先ず、三つ爪部を指で、膳板に向かって軽く押し、その後、赤いレバーを押し下げようお願い致します。

※京楽産業様のパチンコ台を設置する場合、若しくは、クランプがおり辛い場合は、枠の材質がスチールの為、三つ爪がおり辛くなっておりますのが、気にせず、そのまま、レバーを押し下げて下さい。付属の補助レバー(写真-1)をご利用頂ければ、簡単に、固定出来ます。



※竹屋様のパチンコ台を設置する場合のみ

1.クランプ後部のネジを反時計回りに回し(写真-2)、緩める。(回り辛い場合は、3mmの六角ドライバーを利用)。

2.三つ爪部及びレバー部全体を斜め後ろに引っ張り、土台から外す(写真-3)。その後、コースレッド等でパチンコ台を固定。



※パチンコ台の固定が弱い場合のみ

1.10mmの六角レンチで、固定ナットを緩める。

2.三つ爪上部のネジ穴(写真-4)に、2.5mmの六角ドライバーをいれ、爪の高さを調整する(固過ぎると、爪がおりないので注意！)。

3.固定ナットを締める。

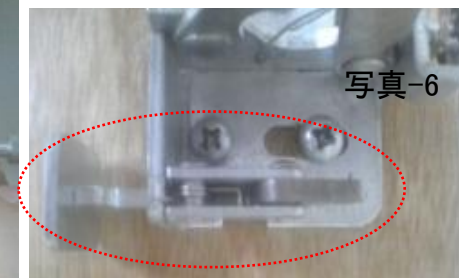


※ニューギン様のレンタルシステム”得枠”(グレイススタイル枠)及び平和様のKABUTO 枠は、枠底面自体の厚みがなく、下部固定器具クランプが使用出来ません。釘ビスによる固定が必要となります。

※パチンコ台の出面を調整したい場合のみ(傾斜に注意！)

1.ラチェット部分(写真-5)を指で押さえ、ストッパーを前後に移動する。

※ラチェットのピッチは、初期設置時は、0の目盛り。移動ピッチの幅は、1.5mm刻みで、パチンコ台の前面側4目盛り、背面側5目盛り(写真-6)。



どんぴしゃ®ハーフ傾斜設定用手順書

セル盤(盤面)傾斜の設定準備

1. パチンコ台のガラスドアを開け、ねぶせパーフェクトを2台(乃至3台)設置する(写真-1)。

※高さは、ぶっこみ入口の釘。

- 3本使い: 左右の端の釘と天釘。
- 2本使い両面ゲージ: 左右の端の釘。
- 2本使い片面ゲージ: 左端の釘と天釘。



写真-1

※ねぶせパーフェクト設置の注意点

1. 上部

ねぶせパーフェクト上部ストッパー(バネ入り)を手前側に押し(写真-2)、釘の傘に乗せる(写真-3)。

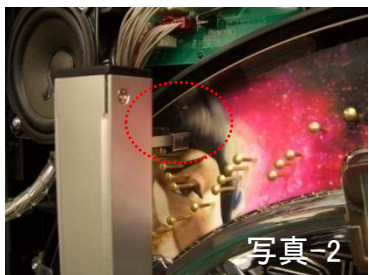


写真-2



写真-3

3. 最終準備

ねぶせパーフェクトの下部足を盤面に数回当て、気泡の動きをスムーズにする。

2. 下部

稼動足を上下させ、役物や盤面の凹凸を避けた場所に足を当てる(写真-4)。



写真-4

セル盤(盤面)傾斜の設定

1. ねぶせパーフェクトの気泡管部を真上から覗き込み、六角レンチで傾斜を設定する(写真-5/6)。



写真-5

※傾斜が設定出来ないとき。。

複数回パチンコ台を入替えると、遊技台の筐体の面出し等の影響で傾斜が設定出来なくなる場合が発生する。その場合は、一度、左右の傾斜を**起こしきる(時計回り、目一杯まで回す)**、若しくは、**寝かしきる(反時計回り、目一杯まで回す)**状態まで戻し、傾斜の再設定を行う。

※傾斜設定の注意点(正確なセル盤(盤面)を設定する為には・・・)

- ・左側から設定する場合は、左側→右側→左側、と三回にわたって、設定作業を行って下さい。但し、片側のみ回し切る、と機構自体が壊れる可能性がありますので、左右バランスよく、操作して下さい。
- ・六角ハンドル操作後、ねぶせパーフェクト下部足を盤面に数回当て、気泡管が上下の線の中に落ち着くまで、数秒の時間をとる。
- ・多変量解析等の手法を用いて、検証を行い、再現性のある、且つ、科学的根拠に基づいた、よりよい、オペレーションを見つける為には、必ず、記録書へ傾斜の測定値とピッチを記録して下さい。

※右は、設定セル盤(盤面)傾斜が3分5厘(写真-7)

本資料は、両面印刷し、

ラミネート処理を施し、常備願います。

2. 傾斜を起こす(例: 4分5厘→3分)場合⇒六角レンチを反時計回りに回す。

傾斜を寝かす(例: 3分→4分5厘)場合⇒六角レンチを時計回りに回す。

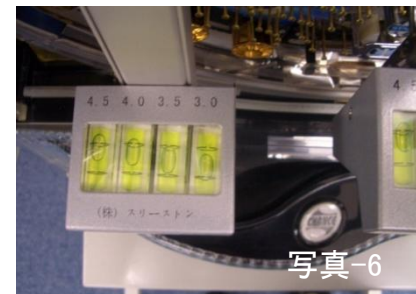


写真-6

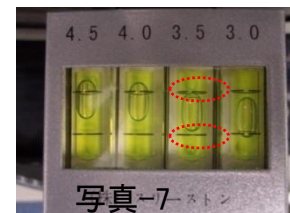


写真-7

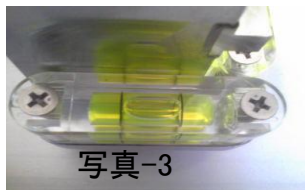
ねぶせパーフェクト較正治具、使用手順書

気泡管の狂いの確認準備

1. ねぶせパーフェクト較正治具を水平な場所へ設置する(写真-1)。



2. 手前の気泡管(写真-2、緑線円)を見ながら、奥側2つのねじ(写真-2、赤線円)を回し、左右のレベルを整えます。次に、本体脇の気泡管(写真-2、青線円)を見ながら、手前真ん中の気泡管のねじ(写真-2、紫線円)を回し、前後のレベルを整えます。レベルを取る際は、気泡管内の黒い線の中に、気泡をいれるよう(写真-3)調整します。尚、手前側左右のネジ(写真-2、黄線円)は、前後左右のレベル設定後、レベルに景況を与えない範囲、グラつき防止で、脚を延ばして下さい。



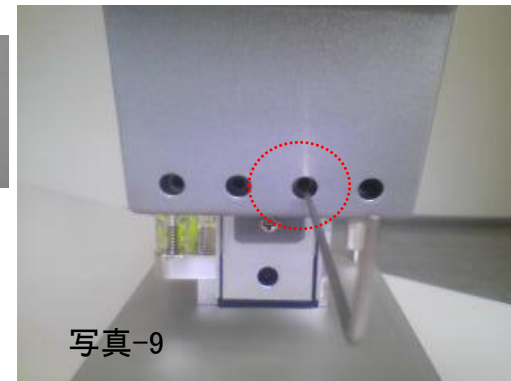
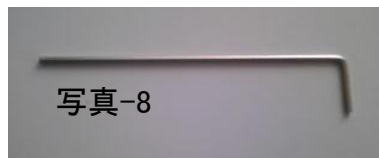
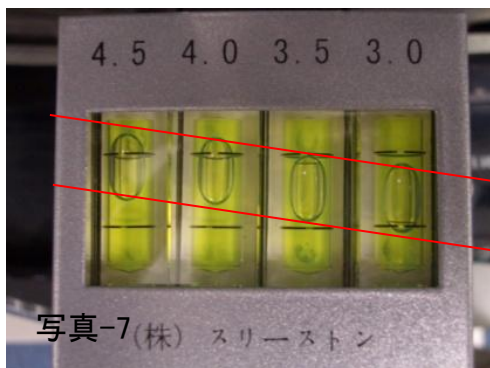
本資料は、両面印刷し、ラミネート処理を施し、常備願います。

3. ねぶせパーフェクトの上部釘引っ掛け部の黒いストッパーを矢印の方向へ押し(写真-4)、較正治具の任意の傾斜の釘へ引っ掛ける(写真-5)。ねぶせパーフェクトの下部の可動脚を調整し、任意の傾斜のブロックへ脚を載せる(写真-6)。



※4の作業で、任意の傾斜における気泡管のズレ及び気泡同士の平行が取れていない場合付属のφ 1.5mmの調整六角レンチ(写真-8)を調整孔へ挿入し(写真-9)、気泡管の調整を行う。六角レンチを時計回りに回すことによって、気泡が奥へ動きます。

4. ねぶせパーフェクト真正面上部より、測定部を覗き込み、任意の傾斜の気泡が黒線内(各気泡管)に収まっているか、また、赤線の内(斜め平行線)に、気泡が一直線に並んでいるかを確認する。(写真-7、傾斜3分5厘の計測)



今回のマニュアルは、ねぶせパーフェクトの測定可能傾斜は、デフォルト(3分、3分5厘、4分、4分5厘)仕様となっております。

毎日の傾斜の確認作業を行う前に、ねぶせパーフェクト較正治具を用いて、必ず、測定器の狂いが発生していないか、目視で確認して下さい。